

8月30日 今日 は 大人の夏休み「オリザニア 2018」球団記者体験に参加の日だ。

どんな事が出来るのか期待しつつ集合場所へ向かう。

集合時間より前から沢山の人が集まっている。

ドキドキしながら受付を済ませて同じ体験をする方達と一緒に出発を待つ。

いよいよスタートと尚一層 期待が高まるのを感じる。

そしていよいよ体験に 関係者以外立ち入り禁止のエレベーターに乗り込み 記者席のある6階へ。

記者席からはスタジアム全体が見渡せる。練習中の選手達は遠く小さく見える。試合が始まると沢山の記者がここで記事を書くであろうブースを見学する。

写真を撮りつつ記者の取材はどうするのか等と考えてみる。

次に突然メディア調整室を覗き、ここでオープニングの映像を流すのかと嬉しくなる。

そのあとはグラウンド練習を取材と言う名の見学に。

やはり間近で見る練習は迫力がある。

バッティング練習では快音を残して勢い良く飛ぶボールに目を奪われる。

あまりの近さにバットをスイングする音までハッキリ聞き取れる。

選手達の試合での活躍を期待して熱い視線を送る。

グラウンドをあとにインタビュールームに。

オリックス・バファローズの記者の方の話を聞ける事に。

記者の仕事はコミュニケーション能力が重要だと感じる。

選手と仲良くなって、とっておきの情報がゲットできるかどうかは記者の人柄も関係してくるのではないかと思う。

暫しインタビュールームで待機し「オリザニア特別記者会見」に登場してくれる選手を想像しつつ質問を考える。

今回「オリザニア特別記者会見」に登場してくれたのは、もっとも大阪らしいプレーヤー「MOP」(架空)を授賞した近藤大亮投手です。

ずっと大阪のチームでプレーしてきた近藤投手にとっては一番取りたかった賞だったそう。

近藤投手の記者会見は、オリザニアの新米記者の質問にも質問した記者の目を見て丁寧に答えてくれる神対応だった。

近藤投手の人柄の良さがにじみ出ていたようだ。

最後は MOP 授賞会見らしく、近藤投手のグリコのポーズで会見は終了した。

記者体験はとても充実した内容で貴重な経験ができたと思う。

最後にこの企画を考え実践して頂いたオリックス・バファローズ球団の皆様に感謝と更なる企画の充実を期待したいと思う。

ありがとうございました。

オリザニア球団記者
西峯吉恵